

# 懐かしの校舎いつまでも心に

## 取り壊される梁川の堰本小

### 卒業生がサヨナラ球技大会



もうすぐ取り壊される思い出の校舎を前に

ソフトボールを楽しむOBたち

近く取り壊される校舎の前で同窓生の親ぼくを深めよ

うと二十四日、梁川町の堰本小卒業生が母校で「サヨナラ校舎球技大会」を開き、男子はソフトボール、女子はバレーボールを楽しみながら思い出を語り合った。三十二年卒業生で結成した大会実行委員会(末永佳之代表)主催、福島民報社、伴新聞店の後援。

## 和気あいあい 思い出を語り

堰本小は昭和十六年、旧大関、新田小が統合してスタート、現在まで三千六百余人の卒業生を送り出してきた。四十二年の歴史を誇る現校舎も木造で老朽化してきたことから町が五十八、五十九の二万

を呼び掛け開催した。学年対抗のソフトボールには二十二年度卒から四十二年度卒まで十二チーム百三十人が集まり、大字対抗のバレーボールには五チーム六十人のお母さんが参加した。

午前八時半からの開会式では末永代表と根本秋夫同校教頭が「童心にかえて元気にプレーして下さい」とあいさつ、大会長の渋谷和夫さん(一期生)の始球式で試合を開始した。

このうち、ソフトボールは三歳差で一点のハンディをつけて戦ったが、参加者たちは勝敗ぬきで和気あいあいとゲームを楽しんでいた。大会終了後、堰本研修センターに会場を移し、懇親会を開いて校舎の思い出話に花を咲かせた。

成績は次の通り。

- ▽ソフトボール①三十四年度卒②三十七年度卒③三十九年度卒▽バレーボール①大関B②大関A③新田A